

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2007年 7月号

平成19年6月25日発行
通巻103号

◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
http://www1.mienpo.net/npot
三重県のホームページ
http://www.pref.mie.jp

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります！

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／分部分室／津中央郵便局ボランティアコーナー／(有)デザインオフィス 萩野 ●四日市市●四日市市民活動センター／寺子屋プロジェクト ●亀山市●亀山市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中央大学／松阪市市民活動センター／松阪まちづくりセンター『まちの駅松阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウリアム・テルズアップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町 ●南伊勢町町民文化会館

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／斎宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレんてみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

縦覧書類がNPO室ホームページからごらんいただけるようになりました

平成19年度からの新しい取り組みとして、6月分から三重県に提出いただいたNPO法人の設立認証申請や定款変更認証申請などの縦覧書類が生活部NPO室のホームページからごらんいただけるようになりました。NPO法人は、自らに関する情報をできるだけ公開することによって市民の信頼を得て、市民によって育てられるべきであるとの特定非営利活動促進法(NPO法)の趣旨を踏まえて、法人から提出された縦覧書類について、NPO室における書面による縦覧に加え、インターネット上において広く公開を行うこととしました。これに伴い、従来から各県民センターにおいて行われてきた書面での縦覧については廃止いたしました。以下の縦覧書類等が2か月間NPO室ホームページで公開されます。

【設立認証申請の場合】

定款、役員名簿、設立趣旨書、設立当初の事業年度及び翌事業年度の事業計画書、設立当初の事業年度及び翌事業年度の収支予算書

【定款変更認証申請の場合】

定款、2か年度分の事業計画書及び収支予算書(法人が行う特定非営利活動の種類及び事業の種類を変更する場合)

設立、定款変更、合併の認証申請については、公告(県公報に登載)、縦覧(NPO室及びホームページで2か月間)されるほか、毎年の事業報告書等についてもすでにNPO室ホームページで公開されており、さらに手軽にNPO法人の情報にアクセスできるようになりました。三重県のNPO法人の最新の情報です。ぜひご活用ください。

つながる つなげる 27 県ボランティアセンター コーディネーター 北出真由美

写真の自販機、一見すると普通の自販機なのですが、よ〜く見ますと見慣れないボタンが…。(アップの画像をご覧ください。)

これは募金機能が付いた自販機で、三重県共同募金会が募金運動をより身近で親しみやすいものとするため、三重県社会福祉会館(津市桜橋)の3階講堂前ロビーに設置したものです。

この自動販売機は、特定非営利活動法人ハートフル福祉募金(事務所:宮城県仙台市)で開発されたもので、東北地方を中心に約120台が稼働中(5月末現在)ですが、東京以西での設置は三重県が初めてです。

では、どのようにして募金をするかと言いますと、(1)お金を投入します。(2)欲しい飲み物のボタンを押します。さて、違いはココから!普通はこのあと商品とお釣りが出てきて終了ですが、(3)ここで、代金を投入するところに付いている10円または100円の募金ボタンを押しますと、押した回数分が募金として収納され、その残りがお釣りとして出てくることとなります。もちろん、募金ボタンを押さなくても飲料は買えますし、募金のみの利用もできます。

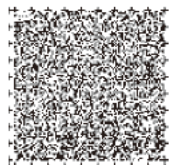
また、募金は購入者のみではなくて、協賛飲料メーカーからの売上1本あたり2円の寄付と設置者から収益の2%の寄付(任意)がされます。

さて、自分の施設や事業所に設置してもいいかもしれない…と思われた方は是非下記までご連絡ください。

連絡先はコチラ!→ 社会福祉法人 三重県共同募金会 Tel:059-226-2605 Fax:059-221-0044

SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は7団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- 【1】(1)障害者自立支援センター(2)平井多久麻(3)松阪市曾原町636番地1
【2】(1)よっかいち若者未来塾(2)西口裕文(3)四日市市日永西四丁目9番15号
【3】(1)鈴鹿市体育協会(2)向井弘光(3)鈴鹿市飯野寺家町234番地の1
【4】(1)大樹(2)有吉久子(3)大紀町永会1991番地2
【5】(1)大杉谷自然学校(2)大西かおり(3)大台町久豆199番地
【6】(1)三郷の華(2)萩原多佳子(3)津市美杉町八知1430番地
【7】(1)みなみいせ市民活動ネット(2)小山 充(3)南伊勢町五ヶ所浦3917番地
(平成19年5月10日~平成19年6月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

日本代替・統合医療研究所(平成19年5月18日)/NPO法人しあわせ広場(平成19年5月15日)/みらい(平成19年5月18日)
(平成19年5月10日~平成19年6月9日届出分)

乳がん体験者の会 あけぼの会三重支部おしゃべり会

- とき/7月1日(日)13:00~15:00 ●参加費/無料
- ところ/伊勢市観光文化会館3階和室(近鉄宇治山田駅前)
- 内容/乳がん体験者ならどなたでも、参加できます。
- 問い合わせ先/小野 Tel.0596-25-4326

【四日市まんなか子ども劇場】 月に一度の絵本のひろばとヘルシーランチ

- とき/7月3日(火)絵本のひろば11:00~ランチ11:30~
- ところ/四日市まんなか子ども劇場 みんなの居場所『きらり』
- 参加費/ランチ900円 利用料300円(会員無料)
- 内容/読み聞かせグループ『すのう ほわいと』による絵本のひろばと野菜中心料理『野恵都』のランチが子連れで食べられます。

子育てサロン「カフェまんなか」

- とき/7月17日(火)10:30~12:30
- ところ/四日市まんなか子ども劇場 みんなの居場所『きらり』
- 参加費/一般500円 会員100円
- 内容/子どもは保育に預けて(保育代一人500円、二人目からは半額)、お母さんだけのおしゃべりの場です。

四日市おもちゃ病院

- とき/7月21日(土)、9月29日(土)14:00~16:00
- ところ/四日市まんなか子ども劇場 みんなの居場所『きらり』
- 参加費/300円(部品代が必要な場合があります)
- 内容/壊れたおもちゃをボランティアの方に直してもらいます

バスで行くディキャンプ

- とき/8月2日(木) ●ところ/青川峡キャンプパーク
- 参加費/大人3500円 小学生3000円 幼児1500円
- バス代(幼児~大人)1000円
- 内容/バーベキュー、川遊び、スイカ割り。
- 応募締切/定員になり次第締切。要申込制。
- 申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670



【三重日独協会主催】 四日市ドイツ語会話教室

- とき/7月7日(土)~8月24日(金)(毎週金曜・全8回コース)19:00~20:45
- ところ/じばさん三重5階(四日市市安島1-3-18 四日市市立博物館となり、駐車場有 Tel.059-353-8100)
- 参加費/三重日独協会会員8000円、非会員10000円
- 内容/三重大学ドイツ人留学生のアンニャ・ロムケさんを講師に迎えて、ドイツ語会話を学びます。毎回前半は、NHKテレビ講座のテキストにそった入門編、毎回後半は、会話の練習を主とします。
- 問い合わせ先/池田直子 Tel.059-351-4843

夏のドイツ料理教室

- とき/7月29日(日)13:30~15:30
- ところ/アスト津5階「食工房」(津市羽所町700番地 津駅JR側改札口を出て左折、駐車場有 Tel.059-222-2525)
- 参加費/材料費の実費 ●応募締切/7月25日(水)
- 内容/三重日独協会会員の千島里美さん(ドイツ在住6年の経験をお持ちの方です)を講師に迎えて、ドイツ料理を学びます。献立はトマトのクリームスープ、豚ヒレ肉のきのこ添え コニャックソース、ハッシュドポテト、季節のくだもの添えクレープです。
- 持ち物/エプロン、台布巾、皿布巾。
- 問い合わせ先/向井明子 Tel.059-232-0594
E-mail mukai@ztv.ne.jp



【三重県伊賀県民センター】 第31回伊賀県民センター ロビーコンサート

- とき/7月26日(木)12:15~12:50
- ところ/三重県伊賀庁舎 1階ロビー
- 参加費/入場無料、申込不要
- 内容/伊賀庁舎では、毎月1回ロビーコンサートを開催しています。今回は京都府南山城村のやまなみホールで開かれるやまなみ国際音楽祭に来られる新人アーティストによる演奏です。音楽が叶えた、県を越えた連携による本格的なステージをお楽しみください。



多文化共生社会づくり講座

- (~多文化共生社会を体験しよう!~)
- とき/7月26日(木)13:30~15:40
 - ところ/三重県伊賀庁舎4階第3・4・5会議室 ●参加費/無料
 - 内容/日本人も外国人もみんなが心豊かに暮らせる社会をつくっていくためには、それぞれの文化の違いを認め、お互いに協力しあわなければなりません。ワークショップを通して、文化の違いや地域で暮らす外国人の方々の気持ちをわかりやすく疑似体験します。講師は財団法人三重県国際交流財団の国際交流員、沼 梓 アリッセさんと王 玉英さんです。
 - 応募締切/7月20日(金)
 - 申込・問い合わせ先/伊賀市四十九町2802 伊賀県民センター生活課 Tel.0595-24-8137 Fax.0595-24-8010
E-mail gkenmin@pref.mie.jp



盲導犬勉強会と デパートショッピング体験会

- とき/7月26日(木)10:00~15:00
- ところ/津駅東口アストビル3階ミーティング室集合
- 視覚障害者がショッピングを楽しむためには、店員さんや周囲の人に、上手に援助の仕方を依頼できることが大切です。今回松菱百貨店様のご協力を得て「視覚障害者



ショッピング体験会を開催します。ボランティアさんが駅やバス停に待機し、誘導しますので視覚障害者の方一人でも安心して参加できます。初めに、盲導犬ユーザーによる体験談披露・援助の依頼の仕方とガイドの仕方。専門歩行訓練士のレクチャーをお聞きいただきます。その後、路線バスで松菱へ移動。店内で昼食・店内の説明のあとショッピング体験。参加予約者には事前に昼食メニューをとどけます。

【ボランティア募集】

視覚障害の方への手助けは、やってみると意外と簡単！ボランティアに興味を持つ方の入門としてもぴったりです。

- 申込方法／電話またはE-mailで下記へ。
- 主催・申込・問い合わせ先／特定非営利活動法人三重補助犬普及協会(担当:多賀) Tel.059-222-8419または、059-234-8554 E-mail mie-hojyoken@pasoya.jp
- または、taga-cross@silk.plala.or.jp
- 協力／松菱百貨店、アイパートナー

小児心療センターあすなろ学園／自閉症・発達障害支援センター合同講演会・シンポジウム

- とき／8月1日(水)開場9:30 開演10:00
- ところ／三重県総合文化センター 文化会館中ホール
- 参加費／無料(申込不要・定員になり次第締切)
- 内容／第一部講演「被虐待問題に潜むもの～社会・文化的背景や法的理解から」。講師は花園大学社会福祉学部教授の津崎哲郎さんです。13:00からの第二部ではシンポジウム「これからの地域子育て支援を考える～虐待予防のために」を開催します。シンポジウムは厚生労働省雇用均等・児童家庭局虐待防止対策室・母子家庭等自立支援室長の伊原和人さん、志摩市ふくし総合支援センター子ども総合支援係長の澤田真仁さん、三重県中勢児童相談所虐待対応課長の鈴木 聡さん、小児心療センターあすなろ学園主幹の中野雅史さんです。司会は三重県健康福祉部医療政策監兼総括室長、西口裕さんとあすなろ学園長、西田寿美さん。
- 募集人数／900人
- 主催・問い合わせ先／514-0818津市城山1丁目12番3号 県立小児心療センターあすなろ学園医療連携室 Tel.059-234-8700(内線30か32)
- 共催／三重県自閉症・発達障害支援センター

市橋隆雄来日講演会かめやま みちくさ人生それがどうしたんや

- とき／8月6日(月) 19:00～21:00
- ところ／亀山市民協働センター1階ホール(亀山市東町)
- 参加費／無料・申込不要
- 内容／亀山市に生まれ、波乱の青年期を経てアフリカ・ケニヤで幼稚園を設立した市橋さん。スラム地区での想像を絶する貧困。一日一食さえ得られない子どもたち。それでも、たくましく生きる人々の姿を通して、人生と命への賛歌を語っていただきます。

●主催・問い合わせ先／亀山市東町1丁目2-22 ねこの館内 「市橋隆雄さんを支える会」事務局 Tel.090-8550-8318 E-mail amani@kdn.ne.jp

第20回自閉症の理解を求めて講演会

- とき／8月23日(木)開場12:30 開会式13:00 講演13:10～
- ところ／三重県総合文化センター 中ホール (津市一身田上津部田1234 Tel.059-233-1113)
- 参加費／無料(資料代500円が必要。要事前申込)
- 内容／発達障害支援法ができ、学校教育法の改正による特別支援教育の実施、自立支援法の施行、私たちを取り巻く状況は大きく変化し、地域での生活や活動を見直す時期にきています。今回の講演会が、自閉症児・者のみならず、関わってくださる人たちにとっても、私たち保護者にとっても、みんなが豊かな生活を考える足がかりになればと願っています。第一部は「子どもの成長をはぐくむために ～相談支援のエキスパートから～」と題した講演、第二部は「地域の人へのメッセージ～相談支援のスーパーバイザー・医師・親それぞれの立場から～」として対談を行います。講師は臨床心理士・自閉症スペクトラム支援士の武藤直子さんです。
- 募集人数／700人
- 申込方法／氏名・所属・住所・連絡先を記入の上、はがき又はFAXを送付するか、電話で申込みを。グループで申込みの場合、代表者氏名・参加人数を明記すること。
- 主催・申込・問い合わせ先／514-0818 津市城山3丁目9-20 (社団法人)日本自閉症協会三重県支部 事務局(担当:横山美香) Tel.&Fax.059-234-9477

ネットワークのよびかけ

セーラビリティ津 平成19年度活動日
セーラビリティ活動とは、障害者のためのセーリング支援活動としてイギリスで始まりました。現在は障害、年令、経験に関係なく誰もが自由なセーリングを楽しむ活動して世界各国に広がっています。詳細はお問い合わせください。

- 【練習日】
- とき／7月7日、8月11日、9月1・15日、10月6・20日(すべて土) 受付9:30～ 乗艇10:00～
- ところ／伊勢湾海洋スポーツセンター 艇庫前集合(津市大字津興)
- 参加費／500円(保険料含む)
- 【津・伊勢セーラビリティ選手権】 ●とき／7月28日(土)
- 【伊勢湾オープンヨットレース】 ●とき／7月29日(日)
- 【体験乗艇会】
- とき／8月4日(土) 受付9:30～ 乗艇10:00～ 昼食(無料)12:00～
- ところ／伊勢湾海洋スポーツセンター艇庫前集合



はじめの一歩

これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

時代の流れは速い？遅い？

コンピュータや情報通信の世界は、新しい技術がどんどん出てくるため、時代の移り変わりが速いのだと信じていました。ところが友人によると実は違うのだそうです。

新しい技術がどんどん出てくるように見えていても、基本的な技術や考え方が変わっておらず、大きな変革がなかったために、いまやITの世界では中国やインドにすっかり追いつかれてしまったのだそうです。

ふりかえってみれば、NPO法ができてから8年がたちました。さらに、来年は公益法人制度の改革の影響がありそうです。

まだまだこれからも時代に取り残されないよう、市民活動・ボランティアニュースもがんばっていきたく考えています。

三重県生活部NPO室 堀木俊哉

- 参加費／500円(保険料含む)
- 問い合わせ先／セラビリティ事務局(担当:辻ヶ堂 諒)
Tel.059-256-4727

「カルチャースクール」の講師募集中

空き店舗を活用した「市民講座」の講師を募集中です。この事業は三重県のコミュニティビジネス(以下CB)支援として行う事業で、CB推進、商店街活性化、文化育成などを目的に実施します。CBとは利益を得ながら地域課題を解決を目指す手法で、今回は「空き店舗」を地域課題と捕らえ、講師に利益を得てもらい実施するものです。講座の内容は、音楽、芸術、ダンス、語学などのジャンル、プロ・アマを問いません。市民活動団体が推進する環境や子育てなどにまつわる講座も可能です。講師は無料奉仕ではなく、適切な利益を得てもらうことで活動を継続してもらえというメリットもあります。家賃などは主催者が負担いたします。詳しくは近日中に行う説明会にて、まずはお気軽にお申し込みください。

※コミュニティビジネスとは?(三重県農水商工部産業支援室HP)
<http://www.pref.mie.jp/shinsan/gyousei/cb/cb1.htm>

- とき／10月から開始し、週1回程度で一定期間(1～6ヶ月間)ご希望期間
- 説明会申込締切／7月20日(金)
- ところ／松阪市中心市街地商店街
- 申込方法／件名「CB説明会参加希望」、本文に「住所・氏名・Tel・講座内容」を記入しE-mailにて。電話でも受付ます。
- 問い合わせ先／特定非営利活動法人Mブリッジ(担当:米山)
Tel.0598-26-0108 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

障害児サマースクールボランティア募集!

「NPOどんど」では、松阪市より委託を受け、「障害児サマースクール」の一部を次の日程で開催します。子どもたちと一緒に音楽療法や工作などを楽しんでいただける方、ぜひお手伝いをお願いします。傷害保険料と昼食代は、主催者が負担をします。当日の昼食は、子どもたちと一緒にです。交通費、日当などはありません。

- とき／7月25日(水)・27日(金)、8月1日(水)・6日(月)・20日(月)・29日(水) いずれも9:00～15:30
- ところ／嬉野保健センター(松阪市嬉野町1443-5 現地集合。希望者は近鉄伊勢中川駅と嬉野保健センターを送迎。申込み時に申し出てください。)
- 募集人数／毎回15名程度(1日だけでも歓迎です)
- 応募締切／7月18日(水)
- 問い合わせ先／特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど Tel.059-254-6080(土日祝祭日を除く9:30～17:00 E-mail dondo@pasoya.jp ホームページ <http://www.pasoya.jp/-dondo/>)

「鈴の音市・市民ステージ」出演者募集

15回目を迎える「鈴の音市」は、市民が中心の参加型イベントです。そこで実施する市民のための気軽な舞台「市民ステージ」の出演者を募集中です。音楽、パフォーマンス、お笑い、ダンスなどジャンルは問いません。グループの発表、本気ライブなどで一緒に楽しみましょう! 昨年様子はホームページ(http://genki365.net/gnkm/gallery_view/gallery_top.php)でご覧いただけます。

- とき／8月4日(土) 17:00～21:00
- ところ／松阪市中心市街地(屋外事業)
- 参加費／無料
- 出演時間／1組30分以内(舞台転換を含む)
- 機材など／基本の音響設備あり。舞台は間口6m×奥行3m、ドラムセットは不可です。
- 応募締切／7月20日(金) ※予定枠が埋まり次第終了
- 申込方法／ホームページを見るか、電話で問い合わせを。

- 問い合わせ先／松阪市市民活動センター Tel.0598-26-0108 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp
ホームページ <http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>

三重県いなば園「喫茶たんぼぼ」ボランティア募集!

知的障害児(者)総合福祉施設・三重県いなば園では、園内にある喫茶コーナーで、利用者さんや来園者に簡単なメニュー(飲み物、かき氷、プリンなど)を作ってくださるボランティアさんを募集しています。「喫茶たんぼぼ」は、平日10時から15時までオープンしており、月一回の参加でも大歓迎です。

- 募集期間／随時(見学歓迎)
- 問い合わせ先／514-1252 津市稲葉町3989 三重県いなば園(担当:野田) Tel.059-252-1780
ホームページ <http://www.inabaen.com/>



自然体験活動ボランティアスタッフ&内勤ボランティアスタッフ募集

子どもと野外活動をしたい方、また、自然体験活動にご興味のある方、これまでの自然体験活動経験をさらに深めたい方を募集しています。詳細はお問い合わせください。

- 仕事の依頼／【野外ボランティアスタッフ】連絡後、登録。お手伝いいただきたい日程を大杉谷自然学校から連絡します。
- 【内勤ボランティアスタッフ】都合の良い時間を知らせていただき、事務所で内勤していただきます。
- 仕事内容／【野外ボランティアスタッフ】自然体験活動のリーダースタッフ及び各種補佐業務(準備・片づけ含む)
- 【内勤ボランティアスタッフ】環境教育事業の事務作業。(簡単な軽作業からパソコンを使うものまであり、できることをお願いします)
- 応募条件／1、18～70歳くらいまでの心身ともに健康な男女。2、自然と子どもが好きの方。3、人とのコミュニケーションが好きの方。4、野外活動ボランティアスタッフは事前打ち合わせのため、プログラム前日に大杉谷自然学校に到着可能な方。
- 申込方法／希望者は、郵便番号・住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号(あればFax、E-mail)、現在の職業とこれまでの職業経験、特技や趣味など自己アピール文とスナップ写真(大きさ自由)、大杉谷自然学校もしくは自然体験活動のどのような事に興味があるかを記載した書類(書式自由)を下記まで郵送、Faxで送付。
- 申込・問い合わせ先／519-2633 多気郡大台町久豆199 大杉谷自然学校(担当:西村) Tel.0598-78-8888 Fax.0598-78-8889 E-mail osn@ma.mctv.ne.jp ホームページ <http://www.ma.mctv.ne.jp/~osn/>

平成19年度 東南アジア派遣研修事業

平成19年度の東南アジア研修では、ベトナム及びタイを訪問し、地域経済交流について考えるほか、経済発展に比べ整備が遅れている環境対策などを視察することによって、これからの国際支援、交流のあり方を考えます。通常、参加対象は地方公務員のみですが、この東南アジアコースでは地域国際化協会、国際協力・国際交流活動を行っているNPO等民間団体・国際機関へも参加を呼びかけています。

- とき／平成19年9月5日(水)～9月15日(土) 11日間
※9月4日午後、全国市町村国際文化研修所に入所。国内研修又は海外研修のどちらか一方のみの参加はできません。
- 参加費／昨年度実績:183,570円/人(参加人数13人)
※研修内容(訪問国等)は、昨年度と異なります。参加人数等により参加費用は変動します。
- 募集対象／※語学能力は、問いません。
(1)地方公共団体(県及び市町)の中堅職員

(2)地域国際化協会の職員等

(3)地方公共団体の推薦を受けたNPO等民間団体・国際機関の職員等

●派遣人員/15人程度 ●応募締切/7月13日(金)

●問い合わせ先/【(1)申込み・海外研修に関すること】(財)自治体国際化協会支援協力部地域支援課(担当:有満、加藤)

Tel.03-3591-5483 Fax.03-3591-5346

【(2)国内研修に関すること】全国市町村国際文化研修所(担当:藤田、五辻) Tel.077-578-5932 Fax.077-578-5906

犯罪被害者相談員等(ボランティア第2期生)募集

犯罪被害者相談員等とは、犯罪の被害に遭われた方やそのご家族等からの「電話相談」、「法廷や病院等への付き添いなどの直接的支援」等、被害者の心身にわたる支援活動を行っていただくほか、広報啓発活動等にも携わっていただきます。臨床心理士、弁護士等の資格をお持ちの方、大歓迎します。

●募集期間/7月10日(火)~8月10日(金)

●応募要件/おおむね年齢25才以上の方。心身ともに健康な方。被害者支援に関心があり、ボランティア活動に理解と意欲がある方。採用前の「養成講座」(9月~10月、6日位)を受けることができる方。採用後、月1回実施する継続研修会(定例会)に出席できる方。

●問い合わせ先/514-0004 津市栄町1丁目891番地 三重県合同ビル2階 社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター
Tel.059-221-7830 Fax.059-225-0070

E-mail mie-hanzai-higaisya@river.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www18.ocn.ne.jp/~mie-hhsc/>

●対象事業の期間/1年間

●助成の額/原則として上限100万円。

●応募方法/財団所定の申請書を書留や宅配便で送付。

●問い合わせ先/財団法人ユニバーサル財団 160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階 Tel.03-3350-9002

Fax.03-3350-9008 E-mail info@univers.or.jp

ホームページ <http://www.univers.or.jp/>

(財)松翁会社会福祉助成金

●受付締切/7月31日(火)消印有効

●助成の対象となる団体/【a、事業助成】原則として法人施設、団体、ただし、法人格をもたないものであっても、特に助成することにより効果が期待できる場合は対象とすることもあります。個人は除きます。

【b、研究助成】法人施設、団体または研究グループ

●助成の対象となる活動/社会福祉に関する民間の事業、研究。

●助成の額/年間総額1000万円程度。1件あたり原則80万円程度。

●応募方法/所定の申込用紙を下記ルートで申込む。なお、申込用紙の社会福祉協議会などのコメント欄は県または市町社会福祉協議会か、県および市の福祉関係部署に記入を依頼してください。

1、県・指定都市社協(申込書配布)一申請団体一松翁会

2、松翁会(申込書配布)一申請団体一松翁会

●問い合わせ先/(財)松翁会事務局助成係 100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4 大手町フィナンシャルセンター3階

Tel.03-3201-3225

ホームページ <http://shouohkai.or.jp/index.html>

第5回パートナーシップ大賞

●受付締切/8月15日(水)18:00必着

●助成の対象となる活動/日本に所在するNPO(法人格の有無不問)と企業との協働事業。現在継続中および、事業終了後3年以内のもの。自薦および第三者による推薦。ただし、どちらの場合も、事業実施NPOおよび企業双方の理解が得られていることを条件とします。

●賞/パートナーシップ大賞グランプリ...NPOに記念盾と副賞30万円、企業に記念盾を贈呈。パートナーシップ賞(5事業)...NPOに記念盾と副賞10万円、企業には記念盾を贈呈。

●応募方法/応募用紙はホームページからダウンロード。郵送希望の場合は角2の返信用封筒に送付先を記入の上、360円分の切手を添えて、下記まで送付。応募は郵送にて。

●問い合わせ先/特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター「パートナーシップ大賞募集係」郵便番号 464-0067 名古屋市千種区池下1-11-21 ファースト池下ビル4階 Tel.052-762-0401

Fax.052-762-0407 E-mail info@psc.or.jp

ホームページ <http://www.psc.or.jp>

第5回MPドリーム助成金

●受付締切/8月20日(月)必着

●助成の対象となる団体/三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ。ただし、総収入額に対する国、地方公共団体等の助成の割合が50%以上、または、総支出に対する人件費の割合が50%以上のグループは、対象外となります。

●助成の対象となる活動/(1)学習会・研修会の開催

(2)調査・研究の実施

(3)福祉教育・ボランティア啓発の実施

(4)ボランティアグループによる先駆的・モデル的活動

(5)器具・器材の購入(6)その他

●対象事業の期間/平成20年1月1日~平成21年6月30日

●助成の額/1グループ20万円以内。40グループ以内。

●応募方法/申請用紙はホームページからダウンロード。応募は郵送にて。

●問い合わせ先/三重県遊技業福祉連合会(担当:山川・山添)

514-0006 津市広明町328(株)津ビル内

Tel.059-221-1677 Fax.059-227-7332

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyoo/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858

ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

助成金 ニュース

米日財団 日米相互理解プロジェクト助成

●受付締切/7月15日(金)

●助成の対象となる団体/無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。

●助成の対象となる活動/「コミュニケーション」「世論」のための助成:日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論、また映像などの各分野において具体的な問題について協力・研究するプロジェクト。但し、個人や営利団体は対象外です。

●応募方法/直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。

●問い合わせ先/米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2

霊南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128

ホームページ <http://www.usjf.org>

(財)みずほ社会福祉助成

●受付締切/7月31日(火)必着

●助成の対象となる団体/【1、事業助成】原則として1年以上の継続的、組織的活動実績のある法人施設・団体、共同作業所等。個人は除きます。

●助成の対象となる活動/社会福祉(障害児者(身体、知的、精神)関係)に関する民間の事業・研究。

●助成の額/【1、事業助成】年間総額3700万円程度。原則として1件15~100万円程度を限度とします。

●応募方法/所定の申込用紙を郵送。

●問い合わせ先/(財)みずほ福祉助成財団事務局

100-0004 東京都千代田区大手町1-5-4

Tel.03-3201-2442 Fax.03-5252-8660

E-mail BLOO683@nifty.ne.jp

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi>

※法人施設・団体または研究グループを対象にした【2、研究助成】もあります。詳細はホームページ参照。

ユニバーサル財団市民活動助成

●受付締切/7月31日(火)必着

●助成の対象となる団体/1、高齢者が活動する市民活動団体。2、高齢者の医療・保健・福祉、まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体。

今日特集

行政とNPOの協働最前線を行く! Part II

平成19年度NPOからの協働事業提案の選定事業が決定!

◆選定結果

6月15日、「平成19年度NPOからの協働事業等提案」の公開審査会が開催されました。



NPO法人いせコンビニネット

最終的に、特定非営利活動法人いせコンビニネットの『新たな広聴の仕組み実践・提案プロジェクト』が選定されました。

本年度の応募は2件で、各団体は7人の審査員と担当部署に向け、渾身のプレゼンテーションを行い、



7人の審査委員の
真剣なまなざし

◆新たな広聴の仕組み実践・提案プロジェクト

三重県と県民（中間支援組織を中心として）が協働で、市民対話型広聴の場を実験的に創り、事業の実践を通して、今後の市民対話型広聴の場のあり方を考え、より効果的な広聴の仕組みを提案しようというものです。

事業は今後実験事業を行いながら、より具体的な検討を進めていくことになりました。

★課題の共有を目指した研究提案の公開審査会を開催します。気軽に見学に来てください。

日時:平成19年7月17日(火) 場所:みえ県民交流センター

お問い合わせ:三重県生活部NPO室

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階

TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5971

E-mail seiknpo@pref.mie.jp

URL <http://www1.mienpo.net/npot/>

中間支援組織担当者ネットワーク交流会 協働勉強会

6月13日に開催された中間支援組織担当者ネットワーク交流会協働勉強会は、6団体15名が参加して、行われました。

参加団体から、亀山市民協働センターの運営、尾鷲の古民家を利用したレストラン「夢古道」による地域活性化の取り組み、三重県議会内にNPO支援に関する勉強会が設置されたこと等の報告が行われた後、今後メインテーマとして取り上げる予定の指定管理者制度について、地方自治法における指定管理者制度の位置づけを確認し、すでに指定

管理者へと移行している各地のセンターから、導入までのステップ、契約の方法、権限、注意すべきことなど、事例紹介が行われました。

様々な場面での協働について関心をお持ちの方は、ご参加をお待ちしています。

◇交流会

日時:7月23日(月)午後1時30分~4時30分

◇協働勉強会

日時:8月20日(月)午後1時30分~4時30分



市民活動センターとしては
県内が一番早く指定管理者となった
伊勢の浦田さん

隔月コラム

NPO室認証担当の

NPO法人知っ得情報

《NPO法人の解散》

最初から解散の話ですみません。

「もう活動しないので法人をやめたいんだけど…」という相談を受けることがあります。

三重県ではNPO法人数432に対して、解散は累計で30あります(5月末現在)。他県と比べてやや多いようです。

さて、NPO法人を自主解散しようとするときは、通常次のような事務の流れになります。

①総会→②解散登記→③解散届→④清算→⑤清算終了登記→⑥清算終了届

まず、①総会を開催し、解散することを議決する必要があります。同時に清算人を決めます。そして、②法務局で「解散及び清算人就任」登記をし、その後、③県に「解散届出書」「登記事項証明書」「清算人就職届」を提出します。

そして、④清算を行います。このとき「官報」で解散を公告しなければなりません。法人との取引関係者などを保護するため、法人が解散し清算中であることを広く知らせる趣旨です。「官報」への掲載料は、1回約3万円(文字数により金額が変動する)。3回以上掲載しなければなりませんから、このとき3万円×3回=9万円程度の費用が必要になります。

「活動してないので、そんなお金もない。困ったなあ」とぼやくことが多いように感じます。NPO法人は設立時にはほとんど経費がかかりませんが、解散時には経費がかかります。解散の可能性も視野に入れてNPO法人化を検討してください。



担当の古川明郎です

お問い合わせ:W.T.Aまちづくりセンター

〒518-0867 三重県伊賀市上野福居町3317番地

TEL 0595-24-7612 FAX 0595-22-0072

E-mail nagi_47_4_3@yahoo.co.jp

URL http://www.geocities.jp/william_tells_apple/

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。印刷物を朗読し、音訳データにするボランティアである吉村陽子さんが紹介してくださったのは、吉川美智子さん。自宅を親子に開放した「なのはな文庫」を通じて、絵本の読み聞かせや語りなどの活動もしています。

自宅を親子に開放「なのはな文庫」

……ご自宅を開放して子ども文庫にしようと思ったきっかけは？
孫のお守りを生後8週間からしていたのですが、幼い孫に本を読んであげるとすごく喜ぶのです。自分の子育ての時には、本を読み聞かせるという心の余裕がありませんでしたので、孫の子育てで初めて絵本を楽しむということができました。当時、嬉野町には図書館が無かったので、「子ども文庫ができればいいな」とチラッと思い、絵本やストーリーテリングの講座などを受けるようになりました。そんな時に、息子たちが長野県のある絵本屋さんで連れて行ってくれたのです。そのお店は一室を、お話を語る部屋として利用していて、予約をしておくとお話を聞かせてくれるのです。それを見て、商売はできないけれど、無料で部屋を開放することならできると思いました。ポツポツと本を買いそろえました。

……吉川さんの子ども文庫、「なのはな文庫」を開いたのは？
7年前の7月26日です。本箱は2段のカラーボックス8個で、部屋の広さも今の半分でした。本が300冊集まったのを機に始めましたが、今では1800冊余りに増えました。

……自宅を地域に開放しようと思ったのはなぜでしょう？
子どもが好きだからかな。もっとたくさんの子どもが絵本を楽しんで、一緒に遊べたらいいなと思いました。

……なのはな文庫の活動日は？
毎週水曜日の2時から5時まで開いています。どなたでも来ていただけますし、予約も必要ありません。好きな時間に来てもらえばいいので、中には5時頃に「おばあちゃん、もう終わりだよ」と言いながら、みえる方もあります(笑)。

……吉川さんは「おばあちゃん」と呼ばれているのですか？
文庫の子をはじめ、幼稚園の子も、小学生も、みんな「吉川のおばあちゃん」と呼んでくれます。それがすごく嬉しい。文庫を開いた頃、孫は小学1年生だったのですが、みんなが私を「おばあちゃん」と呼ぶので、「ぼくのおばあちゃんやなあ」と言ったことがありました(笑)。もう中学生になりましたから、時間がありませんが、以前はよく手伝ってくれました。小学校4年生の時には「子供らの喜ぶ笑顔見

たいから 文庫始めて4周年」という短歌を夏休みの宿題で作ってくれて、もう嬉しくて、嬉しくて(笑)。今も文庫に飾ってあります。

……活動内容は？
本の貸し出しのほか、紙芝居や読み聞かせも行います。毎月第1、2水曜日は3時から、わらべうたや手あそび、語り、絵本の読み聞かせなどを組み合わせたプログラムを行っています。第3水曜日はみんなの好きな本を選んでもらって、読み聞かせ。第4水曜日は、ミニミニお話し会というタイトルでお誕生月の子どものお祝いを行います。この日に読む本は、お誕生月の子どものリクエストに応えます。事前に好きな本を聞いておいて、練習をします。あと、私の手作りのプレゼントも贈っています。その他、パネルシアターやエプロンシアターを行うこともあります。もちろん、プログラムの時間以外でも、子どもたちに頼まれれば絵本も読みますし、紙芝居もします。

……活動は水曜日だけですか？
毎月第1土曜日の10時半から「語りのお部屋」を開いています。これは絵本などを見ずに、世界の昔話を語る会です。それと始めたばかりですが、第1月曜日に「あかちゃんといっしょに」という会を行っています。これは0～3才のお子さんがあるお母さんと寄り集まって、絵本を読みあう会です。文庫に来ているお母さんに声をかけたら「やりたい、やりたい」と喜んで、8～9人集まってくれました。

……子育て中のお母さんたちは、繋がりを求めているのでしょうか？
私はお母さんたちの気持ちを読みとるまではできませんが、少なくともこの文庫に足を運んでくれているお母さんは子育てや読書に興味のある方だと思います。そうでなければ、わざわざ車で出かけてくれたりはしません。

……利用者は近所の方ばかりではないのですか？
自転車で来られる近所の方は1組ぐらいで、あとは久居や三雲、嬉野町内でも少し離れた所から車で来てくれます。それだけ意識が強いから、声を掛けたらすぐに集まってくれるのでしょうか。「あかちゃんといっしょに」では小さい子どもの本のことだけでなく、子育ての話などもしていきたいと思っています。

……子どもだけで遊びに来ることはないのですか？
必ず親がついてきますね。対象年齢を決めているわけではないのですが、うちは小さい子が多いです。兄弟がいる家庭なら、生後3ヶ月から来ている子もいますよ。なかには、初めて話した言葉が「おばあちゃん」だった子もいます(笑)。文庫に開放している部屋は畳敷きですから、赤ちゃんは布団を敷いて、寝かせておきます。でも、5ヶ月くらいになると、本を読んでいる人の方を向いていますね。ハイハイを始めたら、本棚の本をバーツと出して(笑)。お母さんは「ああっ！」って慌てますけど、それも成長の道。本棚から出したら、次は本を運んで来ます。「これ読むの？」と聞くと、「うん」として、読みかけると、また別の本を持って来る。これは成長の過程ですね。

……小学生は来ないのですか？
文庫を開いた当初は小学生に来て欲しいと思い、学校が早く終わる水曜日に設定しましたが、週休2日制になってから、小学生は来てくれなくなりました。土曜日がお休みになって、水曜日以外は遅くまで授業があるでしょう。する



と習い事を水曜日の放課後に入れるようです。皆さん、塾や習い事が理由ではないでしょうが、影響している実感はありますね。

……1日に何人くらい訪問されますか？

親子合わせて15~20人ぐらいですが、好きな時間にバラバラで来ますから。みんなが一緒に集まるのは夏のお楽しみ会と、クリスマス会。いつもはだいたい30人ぐらいで締め切っているのですが、去年のクリスマスは40人集まって、部屋を広げるために本棚を2本廊下に出しました。夏のお楽しみ会は文庫を開いた7月26日前後の水曜日に開いて、今年は7月25日。参加費は無料です。

助成金申請は、活動を理解してもらう第一歩

……本を選ぶ基準は？

書評などを読んだ後、図書館などで実際に見てから購入するか決めます。去年、助成金をいただいた時には20~30年読み継がれているロングセラーを選んで購入しました。

……本を選ぶのも楽しいでしょう？

子どもが喜んで借りてくれると「ああ、良かった」って思いますし、自分が良いと思うとお母さんたちに薦めたり、読み聞かせたりします。毎月ごとにテーマを決めて、私が選んだ本を展示したりもしています。今月は「ももたろう」特集。自分の本だけでは足りないので、嬉野図書館や近隣の図書館で借りてきて、展示しています。基本的に借りてきた本は使わないようにしているのですが、読み比べの時は借りないとできませんね。もちろん、これは貸し出ししません。

ここは私の宝物ですから、ぜひ、たくさんの人に見ていただきたくって。

……お母さんたちから、本選びの相談もあるのでは？

「ももたろう」の前には「一寸法師」を集めました。お母さんから昔話のことを相談されたことがきっかけで、取り上げました。7~8冊を読み、全ての場面を比較してみました。本を最終的に選ぶのはお母さんですが、その時の参考になればと表にしてみました。

……本の購入費や活動資金はどうしていますか？

年間十数万円、私費で賄っています。文庫を始めた当初は夫が勤めていたので、本もたくさん買うことができましたが、今は年金生活ですから(笑)。その分、助成金などを申請するようになりました。最初に薦められて申請したのは伊藤忠記念財団さんの子ども文庫助成です。活動を始めて2年目のことでした。伊藤忠記念財団の助成申請条件が活動歴5年以上だったので、申請を諦めていたのですが、財団の方から「桑名市に視察に行きますから、一度、会いましょう」と連絡をいただきました。実際にお会いして、辞退の話をしたところ、「出してみないと、貰えるかどうかはわかりませんから、出してください」とおっしゃられて、それで申請することにしました。その結果、申請した全額は無理でしたけれど、本棚を作る費用を助成していただきました。おかげさまで、しっかりした本棚を大工さん

に作ってもらうことができました。角は子どもが触っても危なくないよう丸くしてありますし、棚板の厚さは東京国際子ども図書館の本棚を参考に作ってもらいました。大工さんに「こんなに厚い棚板は必要ない」と言われたのを、「いや、欲しいんだ!」って(笑)ずいぶん、無理をお願いしました。

……「助成申請は難しいし、杓子定規」と言うイメージがありました。が、柔軟な姿勢で素晴らしいですね。

伊藤忠記念財団では申請団体すべての文庫を視察するそうなんです。私、助成をいただけるのも嬉しいのですが、何より私の文庫を見てもらいたくて応募したのです。ここは私の宝物ですから、ぜひ、たくさんの人に見ていただきたくって。

……助成されるということは、活動が理解されるということですから。文庫の活動を少しでも応援してあげようと認めてもらえるのが嬉しい。伊藤忠記念財団以外では、三重県や三重県遊技業福祉連合会のMPDリーム助成金を受けています。MPDリーム助成金では、活動発表の場もいただきました。助成金をいただいて、文庫の本が充実すれば、子どもたちにとっても本の選択肢が増えるということです。それに本の購入や本棚に助成をいただければ、その分、私費を子どもたちへのプレゼント代やイベントの準備費用に回せるでしょう。プレゼントは全て私の手作りですが、材料費は必要ですからね。

……読み聞かせやストーリーテリングは勉強したのですか？

文庫を開く前に市民講座や津市立図書館の講座を受けました。今は、児童文学研究センターの通信教育を受けています。ビデオを月に2本見て、レポートを出さなくてはいけないので大変ですが、勉強になるので、覚えたことをお母さんたちに伝えたいと思っています。でも、勉強会や情報を伝えるだけでは堅苦しいから、そういう話はちょっとだけ。楽しみながら、肝心なことを伝えたいですね。大したことはできませんが、ひと月に一つぐらい、「聞いて良かったわ」という話を持ち帰ってもらえたらなって。

……活動が活発ですから、忙しいでしょう？

文庫のお母さんたちと作ったおはなしグループ「わたぼうし」のメンバーの一人として嬉野町内の小学校の朝の読書の時間に行っていますし、保育所や幼稚園でも読み聞かせをしています。昼間は座って仕事をする時間がありませんから、プレゼントや文庫便りづくり、通信教育のレポート書きは夜です。

……でも、イキイキされていますね。

友だちからも「あんた、仕事するの、嬉しそうやな」って言われますけど、これは仕事じゃなくて、私の好きなことだから(笑)。「凄いな」とも言われますけど、何も凄いことなんてしてません。好きだからしているだけ。好きじゃなければ、できません。

……好きだから長く続けられる…。

「いつまでできるかな?」と考えると怖いので、考えないでおきます(笑)。文庫に来てくれている子どもたちが大きくなって、子どもと来てくれるといいですけど、ちょっと始めるのが遅かったかな(笑)。

おばあちゃんの家「なのはな文庫」

住所/松阪市嬉野平生町124-1

Tel.&Fax.0598-42-3674

吉川美智子はこの人を紹介します。

加藤小映子さん

楽しみながらリサイクルやリユースについて考えるボランティアグループ「ぐるぐる」の代表です。

おねがい

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。



昨年のクリスマス会の様子です。パネルシアターを演じる吉川さんと、観客の子どもたち。